

高須中だより

～一人一人 一つ一つ を大切に～



北九州市立高須中学校
学校だより

校長 岩本 健司

令和3年11月26日発行

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

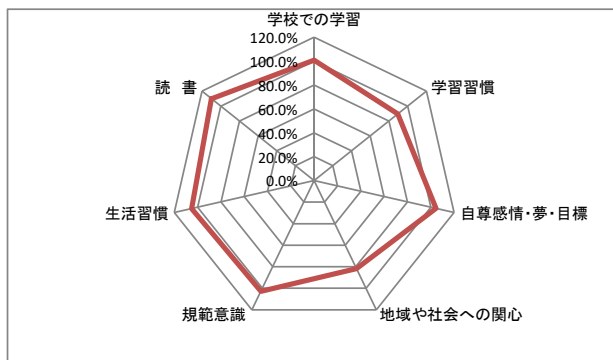
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	領域「書くこと」については、全国平均正答率より上回っていたが、他の3つの領域では少し下回っていた。観点では、「書く能力」は、全国平均正答率より上回っていた。	下回っている
数学	4つの領域「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」のすべてにおいて、全国平均正答率を上回っていた。観点では、「数学的な技能」が全国平均正答率より下がっていた。	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

○読書をしている生徒の割合、生活習慣がしっかり身につけている生徒の割合はとも高い。
○「自分には良いところがある」といった自尊感情が高い生徒の割合、将来の夢をもっている生徒の割合は高い。
○平日の学習習慣、授業で自分の考えをまとめたり、考えをもとに新しいものを作り出すこと、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることに課題がある。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・古文の音読活動に重点的に取り組み、伝統的な言語文化について正しく理解させる。
- ・言語についての知識、理解、技能を高めるために、朝自習や家庭学習で、漢字、四字熟語、ことわざなどの課題に取り組む。
- ・技能向上のための反復練習を授業に組み込む。
- ・方程式において、式から問題をつくる課題を設定する。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・意図的、計画的に課題を出したり、課題の内容を工夫したりして、家庭学習の習慣化を図る。
- ・魅力ある授業で、「家でも勉強したい」、「できるようになりたい」と意欲を持たせる。
- ・家庭学習の効果を実感したり、意義を理解させたりする。